

我が街の記念碑

日本一の丸ポスト

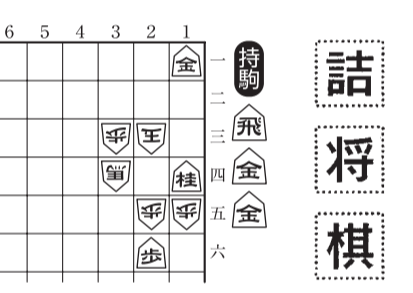
小平市



巨大丸ポスト前でポーズを決めるコダレンジャー(小平市HPより転載)

【小平東村山・書記・高倉 一步通信員】小平東村山支部のある小平市、東村山市は両市とも緑豊かな自然を感じられる街並みを残し、東京のベッドタウンとして分譲住宅が次々と建設されています。その中でまずは小平市の丸ポストを紹介しましょう。

小平市内には、いまでは昔懐かしい丸型ポストがたくさんあります。実は都内の自治体の中で1位の36本(総数)も保有しています。ちなみに23区内はたったの5本だけで、小平市は都内で圧倒的に丸型ポストが多いのです。小平市では2008年11月



詰将棋

持駒 飛金、金、桂、歩

1 金
2 飛金
3 金
4 桂
5 歩
6 歩

チョット一服(965)

この季節、多くの患者が発生する花粉症だが、その発症のメカニズムは、体内に花粉やハウスダストなどの物質が入ると、これを排除するためにヒスタミンがヒスタミン受容体と結びつき、くしゃみや鼻水などのアレルギー反応を起すというものだ。

昔懐かしの小平名物 高さ2.8mにビックリ

「丸ポストマップ」を配布しており、時代とともに丸型ポストが減少する中、「かわいい」「ノスタルジック」「丸型ポストを残してほしい」という声も数多く聞かれます。

小平駅近くのルネ小平前には、高さ2.8m、幅80cm、重さ約1.2トンの日本一巨大な丸ポストが設置され、郵便物を投函することができます。平成21年に、こだいら日本丸ポスト愛好会、地元商店会、市内郵便局などの協力によって作製された。

また、小平市には市公認の地域宣伝隊コダレンジャーというヒーローがおり、小平市の特色を取って丸ポストレッド(丸ポストの町)、グリーン(丸ポストの町)、ブルー(丸ポストの町)、ブルーベリー(丸ポストの町)の3人で構成され、市民のボランティアで運営されています。そのうち丸ポストレッドは文字通り、丸ポストから生まれ、顔をよく見るとテーマクになっています。

小平市は、ノスタルジックな丸ポスト、四季折々の花と緑豊かな小平グリーンロードなど、見どころ満載です。

お近くにお立ち寄りの際には、ぜひ足を伸ばして、小平市を散策してみてくださいいかがでしょうか。



忘れえぬ日々

鼻に残る材木の匂い 甦る親父の記憶と共に



大工 佐野博

職業は婦徳に反すると母校の跡見女学校の同窓会名簿から除名され、弟は女優の姉をもつと白い目で見られて悲観し自殺した。養成学校の生徒が帝劇の一期生の森律子は、女優の大株主の結婚披露宴の余興に出演することになり、森たちが会場の帝国ホテルの表口から入ろうとすると、裏口に回れと言われ、結局、横手の窓から足場を使って入った。世間は女優を見る目が冷たかった。

鼻に残る材木の匂い、親父の出は山梨です。甲府盆地の南、印鑑・はんこの産業が盛んなところです。親父の兄弟の3軒がその仕事をしていました。作業の工程が細分化されていて、すぐ下の叔父は、印鑑のケースを作っていました。たぶんその叔父からケースの芯材の加工を受けただけでしょう。木製芯材の内側に布を、外側に貼って仕上

今では造作材はほとんど工場製品となり、加工製材することも少なくなりました。松、米杉や台湾松など、材木の匂いが忘れられることがないようにと思えます。(府中国)

【本部・熊切健二】題名を見たとき「結婚式のスピーチ本か」と想像したが良い意味で裏切られた。この本には言葉の無限の可能性、または人の意気付け方、言葉は時として人の心を変えられることができるというメッセージが詰まっている。OLの二ノ宮と葉は、密かに片思いをしていた今川厚志の結婚披露宴に出席。眠たくなる上役のスピーチ中、顔からスピーチにダイブし会場から失笑されその場から逃げ出したくなる。しかし、披露宴の最後に涙が溢れ感動する衝撃的なスピーチに出会う。それが伝説のスピーチライター久遠久美の祝辞だ。空気を一変させる言葉に魅せられたこと葉は会社を辞めて弟子入りをして言葉の修行を始める。厚志はむずかしい。組合の課題のひとつもそこにある。言葉だけでは人は動かない。その言葉を発する人の想いが響き原動力となり人を動かすのだと思う。(徳間文庫・700円税込)

本日は、お日柄もよく 原田 マハ

人を惹き付け動かす言葉の力

は父の遺志を継ぎ衆議院選に立つ。久美の教えを受け、成長したこと葉は、厚志の選挙を手伝うことになり、「政権交代」を叫ぶ野党のスピーチライターに抜擢されていく。

職業スピーチライターとはアメリカで早くからその役割に注目が集まり、ケネディの「自分が国家のために何ができるか」、オバマの「YES WE CAN」やプラハや広島での演説など、その裏での活躍も大きく取り上げられている。日本でも首相演説にスピーチライターが起用されている。そんな仕事もあるのだなあと思っていたら、少なからず私の役割もその要素に通ずるものがある。

誰かに何かを伝えることはむずかしい。組合の課題のひとつもそこにある。言葉だけでは人は動かない。その言葉を発する人の想いが響き原動力となり人を動かすのだと思う。(徳間文庫・700円税込)

